

成田市議会からのメッセージ

定例会審議から、くらしにかかわる可決議案、報告などをピックアップします

12月定例会ハイライト 24議案を可決・承認

令和元年度一般会計補正予算、 手数料条例の一部改正など

令和元年12月定例会は、11月29日に招集され12月18日まで20日間の会期で開催しました。定例会の初日には、22議案が上程されました。

一般質問は、12月3日から4日間、20人の議員が登場して行われました。9日からは各常任委員会、特別委員会が開かれました。

最終日には、議案22件と追加議案1件および発議案1件を原案どおり可決・承認し、また請願2件のうち1件を趣旨採択、1件を不採択し、閉会しました。

【12月定例会の日程】

月日	内容
11月29日(金)	本会議(開会、会期の決定、全議案一括上程)
12月3日(火)	本会議(一般質問)
4日(水)	本会議(一般質問)
5日(木)	本会議(一般質問)
6日(金)	本会議(一般質問、議案質疑、委員会付託)
9日(月)	新市場整備・輸出拠点化等調査特別委員会 建設水道常任委員会
10日(火)	空港対策特別委員会 教育民生常任委員会
11日(水)	経済環境常任委員会
12日(木)	総務常任委員会
13日(金)	議会運営委員会
18日(水)	本会議(会議録署名議員指名、議案・請願審議、閉会)

請願・陳情



請願・陳情が行いやすくなりました

議会への請願や陳情を行いやすくするため、議会運営委員会から発議案が提出され、全会一致で可決されました。(発議案第1号)

請願書・陳情書を提出する際に必要としていた押印について、個人からの請願・陳情で請願者・陳情者本人の署名がある場合には、不要となりました。

ご意見を募集しています！

「成田市議会議員政治倫理条例(素案)」

成田市議会では、議員が誠実かつ公正にその職務を遂行し、人格および倫理の向上に努め、その地位による影響力を不正に行使して自己または特定の者の利益を図ることのないよう必要な事項を定めることにより、議会および議員に対する市民の信頼に応え、公正で開かれた民主的な市政の発展に寄与することを目的として成田市議会議員政治倫理条例の制定に向けて取り組んでいます。

このたび、成田市議会議員政治倫理条例(素案)を取りまとめ、市民の皆さんからのご意見を募集しています。

いただいたご意見を参考に最終案を取りまとめたいと考えていますので、多くのご意見をお寄せください。

■意見募集期間

令和2年1月15日(水)～令和2年2月14日(金)

■閲覧場所

- 議会事務局 ○行政資料室(市役所1階) ○下総・大栄支所
- 各公民館、市立図書館 ○保健福祉館
- 三里塚コミュニティセンター ○もりんぴあこうづ
- 赤坂ふれあいセンター ○市ホームページ

■意見の提出方法

意見提出書に必要事項を記入し、次のいずれかの方法により議会事務局へ提出ください。

【持参】 成田市議会事務局窓口(市役所議会棟2階)

【郵送】 〒286-8585 成田市花崎町760
成田市議会事務局

【FAX】 0476(24)0336

【Eメール】 gikai@city.narita.chiba.jp

委員会審査レポート



※本会議で委員会に付託された主な議案と審査内容の概要および報告された内容の一部を要約して紹介します。

総務常任委員会

台風被害の復旧経費などを盛り込む一般会計補正予算

議案9件をいずれも可決および承認しました。所管事務について5件の報告を受けました。

一般会計補正予算では、台風15号により被害を受けた区・自治会等が所有する集会施設の修繕費補助経費として828万5,000円、農業用ハウス等の復旧に要する経費および倒壊した農業用ハウスの撤去に要する経費として14億1,492万8,000円、成田富里いずみ清掃工場維持管理事業では、成田富里いずみ清掃工場のごみの年間搬入予想量が当初見込んだ数量を上回ることから、一般廃棄物臨時焼却に要する経費として4,899万9,000円など、歳入歳出それぞれ22億2,349万3,000円を増額します。なお、補正後の予算額は656億3,075万5,000円となります。

教育民生常任委員会

行政協力員制度の見直し、台風15号等で被害を受けた防犯灯への対応

議案2件をいずれも可決しました。所管事務について7件の報告を受けました。

地方公務員法及び地方自治法の一部を改正する法律が令和2年4月に施行されることに伴い、非常勤特別職公務員の任用要件が厳格化されます。そのため、これまで各区・自治会長に委嘱していた行政協力員について制度の見直しを行い、行政協力員にお願いしていた業務を、区・自治会と委託契約を結び、区・自治会で業務を実施することになります。

台風15号、19号および10月25日の大雨により被害を受けた防犯灯の更新費用について、区・自治会の費用負担を軽減するため、工事および補助金等の申請手続などが令和元年度末に完了する見込みがある場合については、令和元年度に限り、今回の台風等による被害に限定した特例として、通常10分の8と規定している補助割合を全額補助する規定を設けます。



経済環境常任委員会

都市公園条例の一部改正、プラスチック製容器包装の収集回収の変更

議案3件をいずれも可決しました。所管事務について4件の報告を受けました。

北千葉道路の整備に伴い、一時閉鎖している大谷津運動公園野球場について、これまで手動式のスコアボードが設置されていましたが、今回の改修工事により電光化したため、新たに利用料金を1時間当たり940円とし、3月20日にリニューアルオープンします。

成田市のごみ排出状況として、最も多い可燃ごみのうち約半分が紙や布類であり、次いでビニール類も多く含まれています。ビニール類については、分別区分を設けて回収しているプラスチック製容器包装の商品も多く含まれており、分別を徹底することにより減量化が図られることから、現在、月2回のペースで収集しているプラスチック製容器包装を、4月から収集回数を毎週に変更することにより、プラスチック製容器包装の分別や排出がしやすくなります。



大谷津運動公園野球場のフルカラーLED式スコアボード

建設水道常任委員会

中台運動公園水泳プール改修事業の進捗

議案7件をいずれも可決しました。所管事務について2件の報告を受けました。

中台運動公園水泳プールにおける工事の進捗は、令和元年11月末現在において、プール周りの既存配管の撤去、内部におけるろ過機6基の設置等が完了しています。3月末には、工事による現場作業を完了し、その後各種試験・検査および調整等を行う計画であり、7月のプール再開に向けて工事を進めています。



委員会審査レポート

※本会議で委員会に付託された主な議案と審査内容の概要および報告された内容の一部を要約して紹介します。

空港対策特別委員会

冬ダイヤにおける22時以降の離着陸状況、環境対策の充実等

請願2件を趣旨採択および不採択とし、5件の報告を受けました。

●成田空港の更なる機能強化に向けた状況

夜間飛行制限の変更については、平成31年2月4日の四者協議会において、A滑走路に限定して運用時間を朝6時から深夜0時までに変更することが確認され、10月27日の冬ダイヤより運用が開始されています。冬ダイヤにおける22時以降の離着陸状況について、新規就航が1件のほか、21時台の飛行機が22時台や23時台で運航されており、深夜便の枠が活用されるよう航空会社に働きかけていくとのことでした。

また、環境対策の充実として、深夜早朝対策としての内窓設置工事のほか、ペアガラスの助成、浴室、洗面所、トイレの外郭防音化等を進めています。現在、A滑走路側の防止地区で先行して内窓設置工事を実施しており、11月30日時点における工事の進捗状況は、全体で対象数874件に対し申請数194件、成田市で対象数498件に対し申請

数135件ですが、騒防法および騒特法の告示がされた後には、B滑走路、C滑走路の防止地区および防止地区に挟まれた谷間地区についても内窓設置工事の対象地区になることから、今後も地域からの意見をしっかりと聞き、関係者と相談していくとのことでした。

航空機騒音健康影響調査については、学識経験者等で構成する委員会において、有効回答者3,700人を対象に、経年変化等の検証を目的とした事前調査を9月1日から10月25日まで実施しました。今回の事前調査を踏まえた本調査については、委員会などで具体的な実施時期、調査項目および調査方法等を審議した上で、令和2年度以降に実施するとの説明がありました。

●その他

成田空港の離着陸制限(カーフェュー)の弾力的運用(平成30年度)の検証結果、カーフェューの弾力的運用の実施状況、2019年冬ダイヤおよび空港会社の中間決算についての報告がありました。

新市場整備・輸出拠点化等調査特別委員会

施設整備の進捗状況、青果仲卸事業者募集の状況等

議案1件を可決し、1件の報告を受けました。

●施設整備の進捗状況

現在、本体棟新築に関わる仮設工事に着手しており、今年度中に地中埋設杭の工事および基礎工事の一部が完了する予定とのことでした。

また、調整池築造工事および敷地外周に擁壁を設置する造成工事を進めており、調整池築造工事は12月19日に完了し、造成工事は令和2年3月31日までの工期とのことでした。

本体棟新築に係る建築工事・電気設備工事・機械設備工事については、いずれも令和3年3月31日までの工期となっています。

●青果仲卸事業者募集の状況

新市場における青果仲卸売り場2小間に入場する事業者の公募を行い、2者を入居予定者として決定したとのことでした。

●輸出拠点化促進事業

令和元年11月27日から29日にかけて、幕張メッセで開催された日本最大の食品輸出に特化した展示商談会「第3回“日本の食品”輸出EXPO」に、千葉県および千葉ブラ

ンド農水産物・食品輸出協議会と共同で出展したことに ついて報告がありました。

展示会では、来場者に新生成田市場の輸出拠点機能をPRするとともに、参加した場内事業者が国内外のバイヤーと商談を実施したとのことでした。

●その他

高機能物流棟事業者および集客施設棟事業者の募集について報告がありました。



幕張メッセで開催された第3回“日本の食品”輸出EXPO

議案と審議結果一覧

※○=賛成、×=反対

議案番号	件名 (件名は一部省略しています)	議決結果	政友クラブ										豪政会			リベラル			公明党		共産党		虹							
			小高	葛生	眞野	藤崎	伊達	島海	星野	神崎	雨宮	秋山	荒木	村嶋	石渡	宇都宮	鬼澤	飯島	小山	神崎	上田	大和	海保	伊藤	油田	一山	水上	大倉	荒川	鶴澤
◆議案																														
1	成田市コンプライアンス条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
2	地方公務員法及び地方自治法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例の制定	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
3	成年被後見人等の権利の制限に係る措置の適正化等を図るための関係法律の整備に関する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例の制定	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
4	非常勤特別職の職員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
5	一般職職員の給与に関する条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
6	議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
7	特別職の職員の給与に関する条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
8	成田市手数料条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
9	成田市都市公園条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
10	成田市下水道条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
11	中台運動公園水泳プール・管理棟他建替え工事(建築工事)請負契約の変更	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
12	中台運動公園水泳プール・管理棟他建替え工事(機械設備工事)請負契約の変更	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
13	成田市立美郷台小学校学校給食共同調理場増築工事(建築工事)請負契約の変更	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
14	指定管理者の指定について(豊住ふれあい健康館外1施設)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
15	専決処分の承認(令和元年度成田市一般会計補正予算(第5号)=専決第22号)	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
16	令和元年度成田市一般会計補正予算(第6号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
17	令和元年度成田市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
18	令和元年度成田市公設地方卸売市場特別会計補正予算(第1号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
19	令和元年度成田市農業集落排水事業特別会計補正予算(第1号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
20	令和元年度成田市水道事業会計補正予算(第1号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
21	令和元年度成田市簡易水道事業会計補正予算(第1号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
22	令和元年度成田市下水道事業会計補正予算(第1号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
23	令和元年度成田市一般会計補正予算(第7号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
◆発議案																														
1	成田市議会会議規則の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
◆請願																														
6	成田空港に関する請願書	不採択	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	
7	成田空港(機能強化)に関する請願書	趣意採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※議長(秋山 忍)は採決に加わりません。※会派名の略称は次のとおり リベラル=リベラル成田、共産党=日本共産党、虹=虹と緑。

ここが知りたい！

一般質問

市政に関する一般質問は、12月3日から6日までの4日間行われ、20人の議員が登壇しました。質問と答弁の内容を要約して掲載しています。

※一般質問とは議員が市政の方針や考え方を市長などに聞くものです。



災害時における市職員のあるべき姿は 1

問 災害時に市民を守るための実行部隊として、市職員の尽力は欠かせないものであるが、家庭の事情もある中で、市民の災害対策をどこまで行う必要があるのか。また、市職員の危機管理意識および公僕としての自覚をどこまで持つ必要があるのか、災害対策に関わる市職員のあるべき姿について伺う。

ておこななければならない、災害時はいち早く駆けつけ、災害対応業務を実施する。また、公務員および組織の一員としての自覚を堅持し、その責任を果たすことができるよう、日頃から職員研修でも教育している。市職員は市民の安全・安心を第一に考え行動することが、災害対策に関わる市職員のあるべき姿であると考えている。

鳥海直樹
議員



答 市職員は言うまでもなく、市民のために働く全体の奉仕者であるという使命感と責任感を持つことが重要である。災害などの非常時であっても同様であり、平常時から災害が発生した場合の自己の任務や役割を十分習熟し

その他の質問

- ◆農業者への災害による今後の支援策は
- ◆災害対策本部の常設化について
- ◆防災システムについて

2 空港の機能強化に向けて関係機関と連携を

問 平成30年3月、四者協議会において、成田空港の更なる機能強化が合意され、成田空港は大きく成長しようとしている。今後、選ばれる空港づくりのためにも、成田国際空港株式会社と協力すべきではないか。また、移転対象となった住民は、移転の時期が定まらず将来設計ができないと聞いているが、国や千葉県、成田国際空港株式会社とどのような協議をしているのか。

や外国人宿泊者に対し、観光の魅力発信などを行っており、魅力あるまちづくりを進めることが選ばれる空港づくりにもつながることから、引き続き関係機関と連携を図っていきたい。また、騒音特法に基づく移転補償については、現時点でスケジュールを示すことは困難と聞いているが、今後の生活に関わる問題であり、住民説明会等においても将来に対する不安の声を聞いていることから、できるだけ早期にスケジュールを示してもらえよう関係機関に求めていく。

飯島照明
議員



答 成田市では、成田国際空港株式会社をはじめ、国や千葉県、周辺市町村と連携を図りながら、成田空港を利用するトランジット旅客^(注1)

その他の質問

- ◆埋蔵文化財発掘調査における民間参加は
- ◆多世帯近居・同居支援の施策実施を

(注1)トランジット旅客…航空機で目的国に向かう途中で、航空機の給油や乗り継ぎのため、一時的に他国の空港に立ち寄った旅客。

3 BCP^(注2)を発動しなかった判断基準と検討経過は

問 9月8日、成田市を含む千葉県各地を襲った台風15号。成田市業務継続計画では、発災から3時間以内に非常時優先業務に必要な職員数を689人としている中、9日の午前8時半時点において市職員1,332人中693人しか出勤できておらず、前後10人としても、これで行政機能が低下していないとは考えにくい。また、9日の午後4時の段階で成田市内において2万6,600軒の停電が判明している。この状況下において、BCPを発動しなかった理由を伺う。

両宮真吾 議員



(注2)BCP…業務継続計画。大規模災害が発生し行政が被災した場合、どの業務を優先すべきかを事前に策定するもの。

答 成田市業務継続計画は、大地震等が発生した際、市役所または庁舎自体が被災し

た場合、行政機能の優先順位を決めて業務を進めていくものである。今回の台風15号の対応については、9日の午前8時半時点において被害状況が明らかでなかったこと、また行政機能の著しい低下が見られなかったことから、BCPの発動には至らなかったものである。今後は、発動基準を明確にし、災害初動時に適切な判断ができるよう対応していく。

その他の質問

- ◆一連の災害を教訓に地域防災計画の見直しを
- ◆SNS、AIを活用した情報の発信と収集を
- ◆自助・共助の醸成と市民個人の避難計画「マイ・タイムライン」の推進を

(仮称)土屋駅の設置に向けて需要予測調査を

問 鉄道事業者の協力が得られず実施できなかった土屋駅実現の課題解決に向け計画した需要予測調査について、今後の市の考え方を伺う。

答 土屋駅の設置について都市計画マスタープランでは、土屋駅周辺を空港と一体となった地域づくりを進めるエリアとして位置付けており、商業機能を担う中核的な拠点として、商業や業務機能など都市機能の充実を図る上で、大きな意義があるものと考えている。さらに、本市にとって最大の地方創生である成田空港の更なる機能強化に伴い、今後、年間発着回数が50

万回に拡大されるなど、成田新高速鉄道の事業化検討時の状況と比べ、社会経済情勢が大きく変貌を遂げようとしており、空港と地域を結び交通拠点としての土屋駅の役割が重要なものになると認識している。このようなことから、新駅実現の課題解決等に向けた需要予測調査について、本市単独で実施することを検討したいと考えている。

その他の質問

- ◆下金山地区、押畑地区、山口地区、松崎地区のまちづくりの考え方は
- ◆下総松崎駅周辺のまちづくりの考え方は
- ◆農業用施設被害に対する支援の拡充を

藤崎勇一 議員



5 法改正による区・自治会長の報酬と委託料について

問 行政協力員制度にかえて、区・自治会に業務を委託する方法を検討しているとのことだが、現在支払われている行政協力員への報酬と委託料の取り扱いはどのようになるのか。また、区・自治会の規約などは、新たな整備が必要であると考えているが、市の考えを伺う。

鬼澤雅弘 議員



答 今回の見直しに伴い、行政協力員として区・自治会長個人への報酬の支払いにかえて、区・自治会に委託料を支払うことを検討している。委託料については、区・自治会内での話し合いにより、使い道を決めることが可能である。また、規約については、区・自治会の

規約に行政協力員や報酬などに関する規定がないのであれば改正する必要はなく、規約がない区・自治会においても、新たに整備する必要もない。



倒木の撤去作業をする住民(長田区)

その他の質問

- ◆台風・大雨災害での停電・給水対策、プロパンガス発電機の活用と災害情報の伝え方は
- ◆高齢者クラブ連合会会長からの高齢者の外出支援に対する意見や要望書について
- ◆A滑走路における夜間飛行制限変更の実施に伴う騒音対策について

6 市内道路の冠水への対策は



星野慎太郎 議員

問 今回の台風等により市内各所で道路が冠水したが、道路冠水の発生原因の分析と冠水時の対処方法について伺う。また、冠水しないための道路整備について今後の計画は。

答 道路冠水の発生原因として、街路樹が落葉する時期の大雨であったため、落ち葉がますなどに詰まり、排水機能の低下があったものと考えられる。道路内側溝や集水ますについて、適宜清掃を行うほか、集水ます流入口の改良など適切な管理に努めていく。また、大雨時の冠水が常態化している国道408号の土屋地先および国道409号の並木町地区、主要地方道

成田松尾線の大清水地区、主要地方道成田安食線の土屋地区、市道郷部線の成田国際高校前の5カ所については、順次、雨水排水整備を実施している。



冠水した不動トンネル付近

その他の質問

- ◆災害に伴う医療・福祉施設へのサポートを
- ◆成田空港「陸の孤島」化および空港との災害時の連携について
- ◆デルタ航空の撤退に関する見解は

7 ISOの認証取得を進める考えは



大倉富重雄 議員

問 私は、平成13年9月定例会から4回にわたり質問を行い、ISO9001の認証取得を求めてきた。小泉市長誕生後の平成20年3月定例会では、他団体の導入状況を参考に検討していきたいとの答弁があった。市役所は最大のサービス産業であるという小泉市長の考え方を継続して維持するためにも認証取得が必要ではないか。

答 自治体がISO9001の認証を取得するメリットは、業務の手順を明確にすることにより、行政サービスの品質を向上させていく仕組みが確立され、サービスの提供を受ける市民の満足度が向上することであると考えている。しかし、認証取得のために新たな事務負担が生じることや、体制構築のための業務委託料や審査手数料等の費用を要することなどの課題がある上、全国的に認証を取得している自治体が少数に限られることから慎重に検討していく。



地域包括ケアシステムのための組織再編を

その他の質問

- ◆福祉総合相談受付体制の構築を
- ◆ロタウイルスワクチン予防接種の周知を
- ◆高齢者の多剤服用対策の推進を

8 災害協定を締結している自治体との連携は



一山貴志 議員

問 台風15号および19号による被害は甚大であり、成田市においても、豪雨や暴風の影響でライフラインが被災し、停電や断水の長期化という被害が発生した。今回の災害において、災害協定を締結している自治体との連携について、どのような取り組みがされたのか。

答 成田市では、千葉県内市町村と災害時における千葉県内市町村間の相互応援に関する基本協定を、北海道函館市、大阪府泉佐野市および栃木県大田原市とは災害時における相互応援に関する協定を締結している。一連の災害による物的支援としては、千葉市からアルミ毛布やクラッカーなど、函館市、泉佐野市からブルーシートを提供していただいた。また、人的支援としては、市川市、泉佐野市、大田原市から被害認定調査員として、計12名の職員を派遣していただいた。今後も引き続き、自治体間相互の連携強化に努めていく。



被害認定調査を行う、泉佐野市職員

その他の質問

- ◆大学付属病院の開院に伴う周辺の道路整備
- ◆都市計画道路の整備状況

管理されていない山林の状況と課題は

神崎 勝 議員



問 台風15号の強風で倒木が相次ぎ、断線などによる停電などが発生する事態となった。成田市は、都市近郊という立地条件による開発と、騒音下による住民の移転などから、森林所有者の経営意欲が薄くなっており、一部には荒廃した森林も見受けられる。そこで、今回の台風被害を受けて、管理されていない山林などの保全整備の状況と課題および今後の整備に対する支援について、市の見解を伺う。

答 成田市では、森林所有者などが間伐^{かんぱつ}や下刈り^{した}などを実施する際には、作業費用の一部に対し千葉県とともに補助を行っている。昨年度に補助を受け整備を実施した面積は平成26年度と比較して拡大しているが、所有者の高齢化や不在地主の増加などにより、荒廃が進行している状況である。今後は、従来実施している整備事業を継続していくとともに、国において、道路などの重要インフラ施設の倒木被害を未然に防止するための森林整備事業の創設が検討されているとのことから、その動向を注視していく。

その他の質問

- ◆台風15号、19号への対応策は
- ◆地域包括ケアシステムの深化・推進を

(注3) オープンデータ…地方公共団体などが保有するデータのうち、誰もがインターネット等を通じ容易に利用できるよう公開されたデータ。
(注4) GIS…地理情報システム。地理情報および付加情報(地形や都市計画図など)を、コンピューター上で加工や検索などができるシステム。

第2子、第3子の保育料の軽減を

葛生孝浩 議員



問 現在の基準では、第3子の就学前の養育に係る費用のうち保育料が占める割合は大きい。そこで、保育料の負担軽減を図るため、成田市独自の取り組みとして、減額対象を小学校就学前までではなく、高校生以下を対象とすることが望ましいと思うが、見解を伺う。

答 令和元年10月1日から幼児教育・保育の無償化が実施されたことにより、3歳児から5歳児までの全ての児童に係る保育料は無償となっている。また、ゼロ歳児から2歳児までの保育料については、同一世帯に2人以上の小学校就学前の子どもがおり、保育園などに在園している場合は、第2子を半額、第3子以降が無料となっている。保育料の負担軽減を図ることは重要であると考えているが、待機児童の解消が最重要課題であると捉えているため、まずは待機児童対策を優先して取り組んでいきたい。



その他の質問

- ◆子育て世代包括支援センターの取り組みは
- ◆オープンデータ^(注3)公開のためのルールについて
- ◆GIS^(注4)の積極的な公開を

11 老朽化した図書館の今後の計画は

伊藤竹夫 議員



問 世界最高の図書館に選ばれたフィンランドのヘルシンキ中央図書館は、イベントスペースやカフェなどが併設され、利用者が好きなスタイルでくつろげる広々とした空間となっており、一般的な図書館の枠組みを超え、アクティブな学びや集うことの効果を視野に入れた図書館の活用という点を学ぶことができる。昭和59年に開館した本市の図書館は、開館以来あらゆる市民に開かれ、着実に役割を果たしてきている。しかし、時代の流れにより図書館の在り方も変わってきており、また、施設も老朽化していると思うが、今後の改修計画と市民ニーズの把握について、市の見解を伺う。

答 平成22年度に改修計画を策定し、順次改修工事を実施してきた。未実施となっている空調設備などの改修を実施する場合には、休館を伴う工事となるため、工事期間中のサービスの提供方法について検討していく。また、今年度、ワークショップの開催や市政モニター制度を利用したアンケートを実施したため、今後は、これらの意見を参考にニーズを分析し、図書館のあるべき姿について考えていく。

その他の質問

- ◆市役所食堂の閉鎖の原因と今後の見通しは
- ◆新生成田市場の開場に向けた進捗状況は
- ◆CSF(豚コレラ)対策について

12 台風・豪雨災害対策について

鵜澤 治 議員



問 台風15号被害対策として10月9日、日本共産党千葉県委員会は、全省庁に16項目の要望を提出した。特に内閣府には、被災者生活再建支援制度に基づく被害住宅への支援額を、全壊500万円、大規模半壊300万円、一部損壊150万円と引き上げて、住宅再建への支援を抜本的に拡充することを要請した。被災住宅再建の公的支援のかさ上げの考えは。また、利根川の氾濫、決壊などの重大事態に及んだときの安全な避難所確保の方針は。

答 被災者生活再建支援制度について対象者に対し制度を案内し手続きを進め、本

市独自の制度として、被災者に対し弔意またはお見舞いの意を表すために見舞金を支給している。本市では56カ所の指定緊急避難場所と、52カ所の指定避難所のほかに、台風が通過や、長時間の雨により洪水、土砂災害などの発生が懸念される場合に事前避難希望者を対象に一時的に開設する17カ所の自主避難所を指定し、防災講話や地域防災計画概要版、防災マップなどを通じて周知している。

その他の質問

- ◆地蔵原新田区、中野区地先の林地開発
- ◆A滑走路の飛行時間は従前に戻し、夜間騒音を評価できる指標に見直しを

大雨による道路冠水での被害を出さない対策を

13

荒川 さくら 議員

問 6月の短時間に降った豪雨や台風15号、10月25日の大雨により、成田市内でも道路冠水で車が動けなくなるなどの被害が相次いだ。現在の整備基準を超える雨が降ったことから、雨水排水整備が既に実施されている箇所でも道路冠水が起きている。根本的な冠水の対策には時間・費用がかかると思うが、それまでの間、注意喚起の看板の設置や路面表示を順次行い、車両等の冠水の被害を出さない対策を広げていく必要があると考えるが、市の見解は。

答 豪雨時に車両等が冠水してしまう原因の一つとして、降雨により路面が濡れるこ

とにより、冠水箇所の水面に気付かず誤って進入してしまうことが考えられる。道路冠水が想定される箇所について、注意喚起の看板や路面・路肩などに冠水の水深を明示する表示板などを設置していく。今後も冠水箇所、危険箇所について、被害を未然に防ぐための対応をしていく。



冠水時の水深がわかる路面表示

その他の質問

- ◆防災行政無線の戸別受信機設置の対象拡大を
- ◆不登校対応の支え手を増やし、支援の強化を
- ◆ユアエルム成田店におけるイトーヨーカドー撤退後の後継店の確保要請を



14 災害時の水の確保を

会津素子 議員



問 練馬区には、深さ約100メートルの飲料用の防災井戸が20カ所設置されているほか、ミニ防災井戸^(注5)がある。区と所有者が協定を結び、災害時における生活水の提供や消火活動にも使用でき、停電時も使用可能である。また、ポンプの設置費用やメンテナンス費用は練馬区が負担している。成田市においても、手動ポンプ付きミニ防災井戸を設置し、非常時の生活水の確保を求めるが、市の見解を伺う。

答 成田市では、災害時における給水体制として、防災井戸からの飲料水や生活水、ペットボトルの備蓄による飲料水の確保に努める

とともに、指定避難所となる学校などの受水槽に給水栓を整備し、災害時における飲料水の確保を進めている。手動ポンプ付きミニ防災井戸について、現在のところ設置の考えはないが、災害時の水の確保は重要であることから、今後も災害に備え、給水体制の整備充実に努めていく。

その他の質問

- ◆吉倉地区の新たなまちづくりによるCO2排出量の増加について
- ◆^{こうがい}香害や化学物質過敏症の被害状況は
- ◆成田市産のオーガニック米・野菜の全国への発信を

(注5) ミニ防災井戸…手動ポンプの付いた深さ9メートルの井戸で、生活水として使用できる。

15 引きこもり対策について

油田 清 議員



問 2018年12月の内閣府調査による引きこもり中高年世代の推計は、全国で61万3,000人という数字が明らかになった。長期化、高齢化する引きこもりの実態は、地域福祉の現場においても8050問題^(注6)として大きな課題となっている。成田市の2020年までの総合保健福祉計画では、引きこもりについての内容には触れられていないが、現状の把握と対策はどのように行われているのか。

答 成田市では、生活困窮に係る相談の窓口である暮らしサポート成田において、市民から寄せられるさまざまな相談の中から、引

(注6) 8050問題…80代の親が50代の子どもの生活を支えるという社会問題。

きこもりについての状況も把握している。また、本人やその家族と支援者との信頼関係の構築が重要であることから、家庭訪問を続けながら、引きこもりの方のペースに配慮し、就労などの社会参加や必要な福祉サービスの利用などにつながるよう支援している。次期総合保健福祉計画の策定に向けて、市民アンケート調査を実施することとなっており、引きこもりの実態や必要な支援の把握に努めていく。

その他の質問

- ◆地域包括支援センターの名称変更について
- ◆低所得者などへのエアコン設置費助成について
- ◆教育委員会の指導による、留守番電話の導入を

16 森林環境譲与税の活用を

小高夕佳 議員



問 近年では、所在不明のまま放置されている森林が増加しており、今回の台風による被害を拡大させた要因の一つとして、管理されていない森林の存在が指摘されている。そこで、平成31年4月に施行された森林環境税及び森林環境譲与税に関する法律は、森林経営管理制度と一体的に行うことにより、管理を市町村が行うものだが、この制度を利用する場合の流れはどのようになるのか。また、森林環境譲与税は、2024年度から徴収が始まる森林環境税が財源となり、市町村に交付される仕組みだが、森林環境譲与税の用途についても見解を伺う。

答 森林経営管理制度では、管理が行われていない森林を対象に、所有者へ意向を確認あるいは所有者から申し出があった場合に管理の委託を受けることとなる。また、森林環境譲与税の用途は、森林の間伐などの森林整備に加え、森林整備を促進するための人材育成や木材利用の促進などに充てなければならないため、実情に応じた森林整備などを着実に進めるよう関係部局が連携し、有効に活用していきたい。

その他の質問

- ◆外国人に対する救急対応の現状は
- ◆ICTを活用した外国人や障がいのある方への救急対応を

17 (仮称)土屋駅設置に向けての現状と可能性は

海保茂喜 議員



問 「土屋に駅をつくりたい、成田空港の開港当初からの約束だ」と市民が願う、土屋駅設置に関する請願の署名活動が、平成19年11月に市民運動として行われ、千葉県議会および成田市議会で請願が採択された。市は議会決議の重みを尊重し、誠実に市民の意思が反映されるよう努める必要がある。今後の成田空港利用者の増大を考えれば、土屋駅設置の必要性・必然性が理解できる。土屋駅の設置に向けての現状と可能性について、市の見解を伺う。

答 本市にとって最大の地方創生である成田空港の更なる機能強化に伴い、今後、年

間発着回数が50万回に拡大されるなど、成田新高速鉄道の事業化検討時の状況と比べ、社会経済情勢が大きく変貌を遂げようとしており、空港と地域を結び交通拠点としての土屋駅の役割が重要なものになると認識している。このようなことから、新駅設置の可能性を探るために、需要予測調査について本市単独で実施することを検討したいと考えている。

その他の質問

- ◆成田空港の更なる機能強化と環境対策は
- ◆航空機による夜間騒音と健康への影響をどのように捉えているのか
- ◆子や親を児童虐待から救うためには

18 市民も避難所担当職員も安全が優先



大和義己議員

問 台風19号の接近に伴い指定避難所を追加開設することとなった10月12日の午後3時、連絡を受けた避難所担当職員が開設準備に向かう時刻には暴風域に入っており、身の危険を感じる程の状況であった。また、避難所の開設を市民に周知したのは午後8時。台風の通過時刻が午後9時ごろのため、住民が避難するのも困難な時間帯であったと考えられる。本来は、12日の正午に一斉開設すべきだったと考えるが、市の見解は。また、今後の改善策は。

必要な事項の研修を行っている。台風19号では、自主避難所を事前に開設していたが、台風の進路や勢力から身の安全が確保できる場所が必要であると判断し、緊急に指定避難所を開設した。避難場所への避難が困難な場合は、近くの安全な場所に避難するか、屋内の安全な場所に避難するようお願いしている。今後は、開設時刻、開設する避難所の選定など、一連の災害対応について検証した後、検討していきたい。

答 成田市では、風水害時避難所担当職員をあらかじめ指名しており、避難所開設に

その他の質問

- ◆災害対策における市民への連絡方法など
- ◆いじめの実態と学校におけるいじめ対策
- ◆小中学校の給食費の未納の現状と無償化

在住外国人の子どもたちへの支援を



眞野義行議員

19

問 文部科学省が実施した調査で、日本に住む外国人の小中学生約12万4,000人のうち、約2万人が就学していない可能性があることが明らかとなった。外国人の場合、日本の義務教育の対象とならず、法的根拠がないため、実態把握も難しい状況となっている。そこで、外国人児童生徒のための日本語集中教室の設立は、児童生徒のみならず、その保護者や教職員、そして成田市の未来にとって非常に有益なことだと思いが、市の見解は。

答 日本語教室については、児童生徒の支援において有効な方策の一つになると考えているが、設置場所や指導員の確保などの課題があり、早急に実現させることは難しい状況である。しかし、外国人児童生徒は増加していく傾向にあり、これまで以上に日本語教育の重要性が増すものと認識している。このことから、日本語支援を必要としている児童生徒が安心して学ぶための支援策の一つとして、日本語教室の設置についても、先行事例を参考にしながら積極的に研究を進めていきたい。

その他の質問

- ◆災害避難時における外国人のための「防災ハンドブック」を
- ◆外国人のための避難訓練実施を
- ◆「多文化共生のまち」が実現するための具体的な施策は

健康長寿社会の実現に向けた取り組みは



神崎利一議員

20

問 千葉県における後期高齢者医療制度の加入者数は、創設当初の平成20年度は約49万人であったが、令和元年6月末時点では約82万人となり、千葉県の人口の13%を占めている。超高齢化社会を迎える中、国民が健康な生活と長寿を享受できる健康長寿社会の実現が急務だと言われているが、医療費の軽減について市の取り組みを伺う。

答 成田市における、後期高齢者1人当たりの医療費は増加しており、高齢化の進展により被保険者数も増えていることから、総医療費も増加傾向となっている。医療費適正化の取り組みとしては、疾病の予防・早期発見および早期治療に役立て、被保険者の健康保持のため、人間ドック受検費用の助成と後期高齢者健康診査を行っている。また、長寿健康づくり訪問指導事業として、3年に1度、千葉県後期高齢者医療広域連合から委託された医療専門職が訪問し、受診方法の改善や健康管理に関する生活指導を実施するなど、医療費の適正化や疾病の重症化の予防を図っている。

その他の質問

- ◆台風15号、19号と豪雨災害と、今後の防災対策について
- ◆不法投棄対策は

行政視察受け入れ状況

平成31年1月から令和元年12月までに、全国から15団体、136名の議会・議員が成田市の特色ある取り組みの行政視察に訪れました。

行政視察の受け入れ状況

視察日	団体名(委員会・会派等)	人数	視察内容
1月10日	福島県本宮市議会 広報広聴委員会	9	議会の広報広聴活動
1月22日	京都府精華町議会 建設産業委員会	10	農業振興・活性化への取り組み
1月23日	秋田県湯沢市議会 議員団	4	自治体の新電力事業
1月30日	宮城県岩沼市議会 仙台空港運用時間延長問題調査特別委員会	22	成田空港の運用に係る諸問題
6月27日	岩手県奥州市議会 議会広報委員会	10	議会だより
7月18日	千葉県佐倉市議会 議員団	4	成田市青少年劇場 成田市折り鶴平和使節団
7月30日	愛知県豊川市議会 福祉委員会	10	こども発達支援センター
8月1日	愛知県岡崎市議会	1	がけ地近接等危険住宅移転事業助成制度等
8月7日	静岡県藤枝市議会 広報広聴委員会	8	議会だよりの編集・発行
8月8日	福島県相馬市議会 議会運営委員会	9	議会基本条例の検証 広報広聴活動
10月2日	石川県七尾市議会 総務企画常任委員会	6	エネルギーの地産地消
10月16日	愛知県江南市議会 建設産業委員会	8	再生可能エネルギーによる発電事業
10月24日	山口県宇部市議会 総務財政委員会	10	指定管理者制度
11月12日	大阪府泉佐野市議会 関空りんくうまちづくり特別委員会	12	成田空港の現況および成田財特法
11月14日	岡山県岡山市議会 子ども・文教委員会	13	下総みどり学園(義務教育学校)

議員研修を開催

成田市議会議員団では、議会の運営能力と議員資質の向上を図るため、研修会を行っています。

11月27日には、「自治体の防災マネジメントと災害時の議会、議員の役割 ～近年の災害に学ぶ～」をテーマに、跡見学園女子大学観光コミュニティ学部教授 かざや はじめ 鍵屋 一氏を迎えて開催しました。



議会避難訓練を実施

成田市議会では、大規模地震が発生した際に、場面に応じた身の安全を確保する行動をとり、迅速に避難行動に移れるよう、議員・職員の任務、避難経路や避難方法、議事の中断、再開等までの流れを確認することを目的に、12月18日に、本会議の開会中に大規模地震が発生したことを想定した避難訓練を実施しました。



議会報告会

を開催しました

[日 時] 令和元年11月8日(金)
午前10時～
午後6時30分～

[会 場] 議場 委員会室

[参加者数] 午前の部 33名
午後の部 30名 計63名



成田市議会では、**市民に開かれた議会の実現を目指し**、議員が定例会における議案の審議経過と結果を報告し、参加された皆さんとの意見交換を行う**議会報告会**を毎年開催しています。

今年度は、はじめて**議場を会場**に開催し、午前の部・午後の部を合わせて63名の方に参加いただきました。参加いただいた皆さん、ありがとうございました。

今回の市議会フォーカスは、議会報告会当日の様子やご意見の一部をご紹介します。

第一部

委員会報告

各委員会から、議会における議案の審議経過および結果等について報告しました。

@ 議場

■ 常任委員会

総 務 学校跡地利活用事業、地域防災計画
教育民生 大栄地区小中一体型校舎新築工事、大栄幼稚園の設置及び管理に関する条例
他

経済環境 宿泊施設バリアフリー化改修補助金、いずみ清掃工場維持管理事業他

建設水道 地域公共交通網形成計画、吉倉地区周辺まちづくり事業他

■ 特別委員会

空港対策 成田空港の更なる機能強化

新市場整備・輸出拠点化等調査 公設卸売市場新築工事、豊洲市場視察報告他

30分



第二部

意見交換

3つのグループに分かれて、参加者の皆さんと意見交換を行いました。

@ 委員会室

テーマ 午前：子育てについて／午後：防災について

30分

テーマ別

台風時、防災行政無線が聞き取れない。

ボール遊びができる公園を増やしてほしい。

今回の災害を受けて、ハザードマップの書き換えをしてほしい。



30分

フリートーク



コミュニティバスの時刻表の見直しをしてほしい。



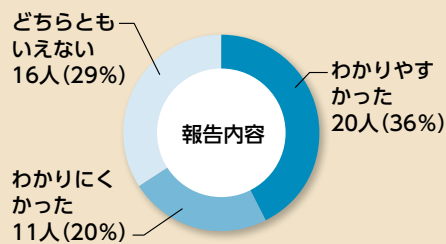
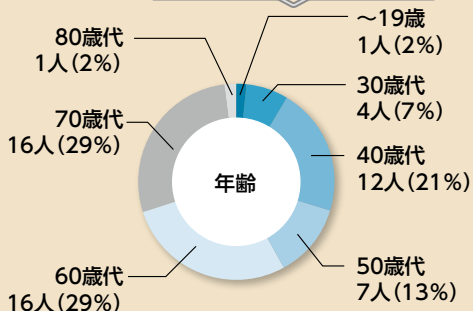
高校生も医療費助成の対象としてほしい。

避難所には、多言語の表示が必要。

これからの世代の人が安心して働きながら子育てができる環境づくりをしてほしい。

閉会

アンケートから



- 議場に入ることができてうれしかった。
- 委員会報告は、市の動きを知ることができて、勉強になった。
- 議会の中でどのような議論になっているのかわかりにくい。
- 小規模でも、いろいろな場所で議会報告会を開催してほしい。
- はじめて参加したが、議会を身近に感じることができた。
- 同じグループの中で、他世代の方が子育てについて考えていて励みになった。

今回いただきましたご意見等は、市民の声として行政運営の参考となるよう、議長から市長へ報告しました。

市民の皆さんのさまざまなご意見を聞くことができ、大変有意義な時間となりました。当日の資料や参加された皆さんからの質疑・ご意見等については、市議会ホームページに掲載していますので、ご覧ください。

成田市議会
議会報告会ページ▶



市外の高校に通学する市内在住の高校生も参加できるようになりました

「高校生との意見交換会」に参加する高校生を募集！

成田市議会では高校生に市議会への関心を持ってもらい、また議会の側も若者の意見を聞く機会を作ることを目的として、「高校生との意見交換会」を開催します。

4回目となる今回は、市外の高校に通学する市内在住の高校生も参加できるようになりましたので、ぜひご参加ください。

【日時】令和2年3月26日(木)午後2時～4時

【会場】市役所議会棟3階 議場および委員会室

【対象】市外の高校に通学している市内在住の高校生

※市内の高校からの参加者は、各学校を通じて募集しています。

【定員】5名程度(先着順)

【内容】議会認識度〇×クイズ、議場等見学、フリーディスカッション

【申込方法】2月14日(金)までに議会事務局(TEL 20-1570)へ。



昨年の高校生との意見交換会

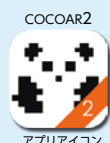


新成人の晴れ姿がスマートフォンで見られます

スマホアプリ「COCOAR2」をインストールして、本紙の表紙にかざすと、撮影に協力いただいた新成人の皆さんの笑顔のスライドショーが始まります。

成田の未来を担う若者の表情をぜひご覧ください。

成田市議会ホームページに掲載された議会だよりからも、読み取ることができます。



アプリアイコン



iOS・Android対応

※見ることができる期間は令和3年1月31日までです。ご了承ください。



コーヒータイム



令和2年、2020年が始まりました！今年はおリンピック・パラリンピックイヤーということで、開催に向けたイベントや新たな取り組みが国内各地で行われます。こういったイベントなどに、私自身もぜひ参加し、大会機運の盛り上がりを体感していきたいと考えています。

広報広聴委員になり、もうすぐ1年が経とうとしています。昨年11月8日の議会報告会は、はじめて議場で開催されました。普段なかなか入ることのできない議場での議会報告会はいかがでしたでしょうか？議会を身近に感じてもらうきっかけの一つになればと思います。

令和という新しい時代とともに、広報広聴委員会でも、政治を身近に感じてもらうべく、市民に開かれた議会を目指して、新しい取り組み等を積極的に議論しています。今後の取り組みを楽しみにしていただけたいと思います。

広報広聴委員 小高 夕佳

3月定例会は、**2月21日(金)** 開会予定です。

「成田市議会だより」についてのお問い合わせは、議会事務局へ。

〒286-8585 成田市花崎町760
TEL 0476 (20) 1570
FAX 0476 (24) 0336

成田市議会

検索

